

関数概念の歴史的変遷（その生成と誤謬と論争）を、できる限り史実に忠実にあたることによりたどっていききたい。

特に、大学の1・2回生で習う数学概念（たとえば、「連続性」、「極限」等）がどのように登場してきたのかを、歴史的および数学的文脈の中で一緒に学んでいければと思う。

この企画はセミナー形式で進める。

参考書などは適宜上げていくが、非常に優れた邦書としては以下の本がある：

「関数とは何か
近代数学史からのアプローチ」
岡本久・長岡亮介著（近代数学社）

自然科学考房（担当：柳沢）

自然科学考房

関数概念を めぐって (セミナー形式)

11月17日（金）18:00~19:30
自然科学考房実習室（B1101）

資料準備のため、参加希望者は11月15日(水)までに
下記アドレスまたは自然科学考房事務室（B1102-B）
へご連絡下さい。（当日の飛び込み参加も可）
yamanaka@cc.nara-wu.ac.jp（山中）